

OpenRTM-aist (C++) - 機能 #530

メモリリークチェックのためのテストの作成

2009/04/14 09:24 - n-ando

ステータス:	終了	開始日:	2009/04/14
優先度:	通常	期日:	
担当者:		進捗率:	100%
カテゴリ:		予定工数:	0.00時間
対象バージョン:			
説明			
メモリリークチェックのためのテストを作成する。 特に、CORBAオペレーション呼出においてリファレンスカウントの不整合によるリークを検出するためのツールを作成する。 したがって、C++コード内の細かいリークについては検出できない可能性がある。			
対象とするCORBAオペレーションは以下の2系統とする。			
- ステートレスな呼び出し - ステートフルな呼び出し			
テストにはPythonおよびrtc_handleを使用したLinuxで動作可能なテストスクリプトを作成すること。 リークチェックについては、当該関数を適当な回数呼び出し、RSSを見て増加しているようであればリークしていると判断する。 ステートレスな呼び出しテストに関しては、1オブジェクト1スクリプト、 ステートフルに関しては、対象オペレーション一つにつき1スクリプトを原則とする。			

履歴

#1 - 2009/04/15 18:00 - kurihara

- ステータスを 新規 から 担当 に変更
- 進捗率を 0 から 10 に変更

進捗 2009/04/15 : 作業割り当て表の作成 (栗原)

内部Wiki > [リリース作業マニュアル] > [メモリリークチェック] に記載

#2 - 2009/04/20 09:54 - 匿名ユーザー

- 進捗率を 10 から 50 に変更

進捗詳細は、内部Wiki > [リリース作業マニュアル] > [メモリリークチェック] に記載

#3 - 2009/04/27 09:11 - 匿名ユーザー

- 進捗率を 50 から 100 に変更

#4 - 2009/05/18 13:53 - 匿名ユーザー

- ステータスを 担当 から 終了 に変更